



みどり

平成29年1月10日
1月号
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 鈴木 祐介

E-mail
midorigaoka-sho@jcom.home.ne.jp

これからの時代を踏まえた授業参観の視点

校長 鈴木 祐介

新年、明けましておめでとうございます。保護者の皆様、そして地域の皆様、今年も緑ヶ丘小学校をどうぞよろしくお願ひいたします。

「世界に太刀打ちできる人材を育成する」が日本国としての大切な国策の一つとなっています。

文部科学省が昨年12月末に公式発表した「答申」の中にも、以下に示す3つの柱を中心に次期学習指導要領を策定する旨が述べられています。

1. 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
2. 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
3. どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等）

すなわち、子供たちが「何を知っているか」に加えて、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか」という力を身に付けさせることが肝要ということです。

私が小学生の頃は、先生が黒板にまとめてくださることを、きれいにノートに書き写していただければ「勉強した」という気持ちになっていたのですが今の時代はそれだけでは十分でないということです。

子供たちはまず自ら「事象の課題となる部分」を見つけ、これに対する「解決策」を様々な角度から考えます。そして隣の友達と意見の交換をしたり班の中でグループ討議をしたりして修正し、最終的な解決策とします。これからの時代は、自分にも自分が勤める職場にも「想像していなかった課題が起きる」訳で、これをどのように解決す

るかは、国語力や計算力といった「知識」だけがあっても解決ができないということです。

緑ヶ丘小学校では、次世代に必要とされる力を育てる活動を授業の中で日常的に行っています。いくつかの例を示しますので、今月28日の授業参観日には、次のような視点を参考にして子供たちの様子をご覧いただきたいと思います。

①【活字から物事の内容を読み取る】

しっかり読むことで文章の表現力を身に付けるとともに、書物からは様々な基礎知識を得ることができます。ビジネス書には、書物の活字や図表から情報を読み取ることはとても大切とあります。

②【意見をまとめ、ルールを守って発表する】

教師の発問に対して、挙手して意見を整理して発表することは、実は大変に難しいことです。心で思ってもなかなか実行できません。子供たちは「ハイ」と返事をして、「立つ」、そして話す時の語尾は「～です」が出来ているでしょうか。

③【友達の意見を取り入れる】

発言する友達の意見を良く聴くことも大切です。相手の意見を否定しないで意見を取り入れることは、自身の思考の範囲を広げます。自分の引出しを多くすることは様々な課題に対して、多くの解決方法を見出すことにつながります。

以上、紙面の字数に限りがあるので全てを紹介できませんが、このような視点を持って授業を観察していただくことも、これからの学校教育を更にご理解をいただける事につながると思います。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年度は正に「大きな変革の訪れた年」でした。

イギリスのAU離脱やまさかのアメリカ、トランプ大統領選出など、私たちの生活にも大きな影響を与えるような出来事が次々と起こりました。今までは「絶対にあり得ないだろう」という事が次々に現実となることに、私たちは動く歴史の中に生きている事実を感じ取ることができます。

今年度辺りから移行のための前倒し実施が部分的に始まります。

今まで長年変化が無かった高校・大学の学習カリキュラムや入試選抜方法を大きく変革することや小・中学校校の学習内容にも多彩な変

英国オックスフォード大学のオズボーン准教授や米デューク大学のデビッドソン研究員が提唱する「現在の子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」「今後10年~20年程度で、現在の半数近くの仕事が自動化される」という研究論文や、日本を取り巻くアジアの国々の経済を中心とした国力増大化などを受けて、日本の教育システムが大きく変わろうとしています。

一つ目は「人や人の気持ちを大切にする」とい

う「徳育」でしょう。日本の電車に乗るマナーや街をきれいにする道德心は世界でも有名ですが、これを更に強化しようということです。二つ目は、「コミュニケーション能力を向上する」です。

「物づくり」を機械が担当するのであれば、人間は国内外の「人と人の繋がり」を重視しなければなりません。ビジネスパートナーだけでなく、社会全体が「信頼できる人物」「魅力ある人物」

「心ある人物」を求めていることは間違いありません。

そして、三つ目は究極の部分ですが、機械には真似ができない「人間の持つクワイティブな発想を豊かにする」という能力でしょう。

- (1) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
- (2) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
- (3) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）

すなわち、子供たちが「何を 知っているか」に加えて、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということです。そのために、子供たちに、知識・技能を身につけさせると同時に、思考力・判断力・表現力等と学びに向かう力、人間性等を総合的に育む必要があるとされています。

5年生 特集号

元気いっぱいな5年生。学習の内容が高度になり、委員会活動や学校行事を通して学校を運営

【ハヶ岳移動教室】

- ・ハヶ岳 風がふくたび 寒かった
- ・ハヶ岳 みんなで行って よかったよ
- ・二日目は 楽しすぎて ねむれない
- ・ハイキング クマと思ったら 岩だった
- ・ハイキング つかれて口数 減っていく
- ・ハヶ岳 耳をすませば 風の音
- ・少し寒い 初めて歩く 夜の森
- ・ダウトでね ウソをあばいた ハヶ岳
- ・協力し みんなで作った ほうとうだ
- ・高級な ジャージソフト あきないな
- ・つりをして 命の大事さ 学んだよ
- ・魚釣り つった魚は おいしいよ
- ・つりしてて ニジマスつって 川ドボン



【ミドリピック】

- ・運動会 役割いっぱい 大変だ
- ・100m ラスト20で 息あがる
- ・地味な技 みんながそろると かっこいい



【全校遠足】

- ・遠足は 笑顔がいっぱい あふれてる
- ・遠足は 人とかかわる いい機会
- ・お弁当 寒い中でも 温かい
- ・たてわり班 いろんな遊び 思い出だ
- ・遠足で 歩きつかれた 公園で
本部に集まり 足リラックス
- ・帰り道 話していたら あっという間
- ・雨がふり 手がかじかんで 指真っ赤
- ・悲しみを 運んできてる 雨の音
- ・雨がふり みんなのテンション 下り坂
- ・帰り道 思い出もって 歩いてく
- ・低学年 悪天候でも かけまわる

【ミドリミュージアム】

- ・コスモタワー 班でつくった 達成感
- ・展覧会 ギャラリートークで 声かれた
- ・ミュージアム ギャラリートーク 苦戦した
- ・展覧会 ギャラリートーク カミカミで
- ・展覧会 たくさんほめられ いい気分
- ・体育館 光りかがやく 作品を
家族みんなで 見つめてる
- ・光る城 みんなの思いを のせてゆけ
- ・先生の ピアノに合わせて ライトアップ



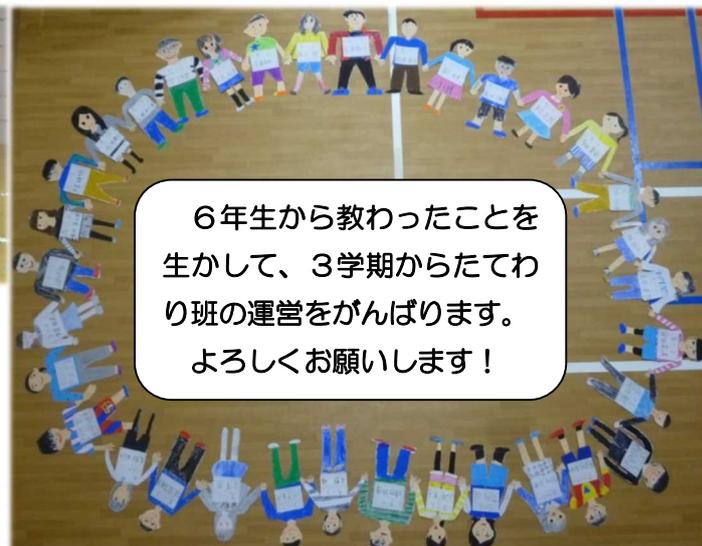
【連合音楽会】

- ・これまでの 練習思い 深呼吸
- ・ステージで 始めのあいさつ 顔こわばる
最後の礼で 力がぬける
- ・ライト付き トップバッター がんばるぞ
- ・ステージで ライトをあびたら ど緊張
- ・客席の 緊張感に 負けないぞ
- ・黄金の 楽器をかまえて 指揮を見る
まじめにやると みんなにとどく
- ・ホール中 きれいなメロディ ひびいてる
- ・音楽会 ボンゴ動いて あわてたよ
- ・ホールでは いつもとちがった ひびき方
- ・音楽会 息を合わせて 大成功
- ・今までの 練習のすべて 出し切った
教え合いながら 助け合ったよ



【クラスのこと・自分のこと】

- ・だれよりも 友達思いな 五年生
- ・休み時間 みんなで遊んだ 宝物
- ・休み時間 ゴール校庭 競争だ
- ・5の1は 盛り上がってて 楽しいよ
- ・5の1は 協力し合える いいクラス
- ・5の1は みんながみんな あたたかい
- ・ふだんでは けんかばかり でも楽しい
- ・川柳が なかなか決まらず なやむぼく
- ・来年は 光りかがやく 六年生



* 1月の生活目標 *

『身の回りをきれいにしましょう。』



新しい年がスタートしました。新たな抱負を抱き、新しい年の始まりに期待を膨らませていることと思います。身の回りをきれいにすることで、いつでも気持ちよく新鮮な気持ちで生活できます。「身の回りをきれいにしましょう。」というと、整理整頓が一番初めに頭に浮かぶと思いますが、整理整頓はもちろんのこと、風邪やインフルエンザが流行する時期です。自分自身の「身」の回りも清潔にしたいところです。ハンカチ・ティッシュを身に付け、うがい手洗いも心がけてほしいです。今年一年気持ちよく過ごすために、身の回りをきれいにしていきたいと思います。

1月のカレンダー

- 10日(火) 始業式
- 11日(水) 給食始、身体計測(5・6年)
- 12日(木) 安全指導 身体計測(3・4年)
個人面談始(～27日)
- 13日(金) 身体計測(1・2年)
委員会活動
- 15日(日) 調布FM放送日(12/8の連合音楽会)
- 16日(月) クラブ活動
書き初め展始(～28日)
- 17日(火) ペースランニング始(～2/1)
- 18日(水) たてわり班活動
FC東京サッカー教室(5・6年)
研究授業(5年)
(5年以外は、4時間授業)



- 23日(月) クラブ活動
- 25日(水) ベネズエラの方と交流
FC東京サッカー教室(5・6年)
- 26日(木) 避難訓練
- 27日(金) 個人面談終
- 28日(土) 学校公開日
書き初め展終
- 30日(月) 振替休業日
- 31日(火) 新1年生保護者説明会
(14時00分～)

《書き初め展》

1月16日(月)～28日(土)まで、校内に子供たちの書き初めを展示します。冬休みに練習した成果を生かし、3学期初めに学校で書いた書き初め(1・2年生は硬筆、3年生から6年生は毛筆)を展示します。面談や学校公開日等、学校にお越しの際には子供たちの作品をどうぞご鑑賞ください。作品は各学年の廊下に展示してあります。



《算数習熟度指導について》

3年生以上の算数は、2学級を3つの習熟度コースに分けて学習しています(5年生は1学級を2コース)。指導に当たっては、教員間で十分に共通理解を図り、レディネステストを基に児童の希望も考慮してコースを決定しています。児童には、事前に習熟度の目的・習熟度別コースの学習の仕方・コースの選び方などを説明します。ぱっちりコースでは、言葉や図、表、グラフ等と関連付けていろいろな解法を考えていきます。しっかりコースでは、習った事を使って自分で解決する喜びを味わい、解法の共通点・相違点に気付くようにします。じっくりコースでは、スモールステップを踏んでわかる喜びを味わうようにします。



